

~ 中高生はどんな本を読んでいるんだろう? ~

2015年9月~2016年8月
 中高生ベストリーダーTOP15

順位	タイトル	著者	回数
1	図書館戦争	有川 浩	73
2	ぼくらの魔女戦記1	宗田 理	67
3	植物図鑑	有川 浩	66
4	都会のトム&ソーヤ12	はやみね かおる	63
4	都会のトム&ソーヤ13	はやみね かおる	63
4	図書館内乱	有川 浩	63
7	図書館危機	有川 浩	62
8	明日の子供たち	有川 浩	56
8	図書館革命	有川 浩	56
10	ビブリア古書堂の事件手帖1	三上 延	55
11	ソロモンの偽証 第1部 事件	宮部 みゆき	54
11	黒い雨	井伏 鱒二	54
13	終物語 下	西尾 維新	53
14	別冊図書館戦争2	有川 浩	52
14	県庁おもてなし課	有川 浩	52

本好きな子も、そうでない子も、まわり
 の人がいったいどんな本を読むのか気にな
 ったことはないですか？

そんな人のために、世田谷区立図書館で
 中高生の人たちによく借りられた本を調査
 し、ランキングを作りました。



← 1位『図書館戦争』

著者：有川 浩
 イラストレーター：徒花スクモ
 発行：株式会社KADOKAWA
 アスキー・メディアワークス

なんと、有川浩さんの本が8
 作品ランクイン！

読んだことがある本はありましたか？
 ランクインしている本はそれだけ人気があるの
 で、まわりのお友達と話してみると盛り上がる
 かも。(地味に『黒い雨』が入っている!!)

~ どんな本を読むか、迷ったときに ~

世田谷区立図書館では、中高生のみなさんに贈るおす
 すめの本のリストを作りました。

「図書館に来たけど、どの本を借りるか決まらない」
 そんなときに、みなさんの本選びのガイドになればと、
 55冊の本を紹介しています。

うれしい時、楽しい時、つらい時、悲しい時にそっと
 心に寄り添ってくれる、そんな本たちです。

7月に、区立中学校の2年生に配布しました。

持っていない人は、世田谷区立図書館に置いてあるの
 で、図書館に来たらぜひお持ち帰り下さい！

中央図書館のテーマ本コーナーに、
 「SETAYOMI」で紹介された
 本を集めています。中央図書館に来
 たらチェックしてみてくださいね。



中高生へ贈るオススメ本のリスト 「SETAYOMI」



9つのテーマに分けて
 紹介しています。



本がたくさん紹介されている
カウンターがとてもにぎやか

羽根木公園や梅丘図書館に近い、梅丘中学校の学校図書館におじゃましました。

ユニークな活動をたくさんされているので、そのいくつかを紹介します。



部活の前に立ち寄る生徒さん

ブックトークに挑戦

梅丘中学校恒例「読書会」の第9弾として、昨年度はブックトークを開催したそうです。参加者は先生方と、図書委員さんを中心とする生徒のみなさん計21名。ブックトークとは、テーマを決めておすすめの本の紹介をすることを言います。今回のテーマは、「自分が本を読むようになったきっかけとなる本」。発表後、発表者には他の参加者から「ひとこと感想カード」がもらえます。自分がおすすめした本に対して感想がもらえる機会もあまりないので、うれしいですね!

図書館通信

手書きというところも素敵な「図書館通信」。ブックトークについて紹介している号では、紹介された本とそれぞれのおすすめポイントが載っていて、どれもおもしろそうで読んでみたくなっています。



読書の葉(しおり)

図書館で本を借りると「読書の葉」がもらえます。葉の色は、7色あります。葉の裏に5冊分の「本の題名」と「著者」の記入欄があり、一杯になると新しい色の葉がもらえます。葉の色が変わるのがとても楽しみにしている生徒さんもたくさんいるそうです。



伝言板

図書館の外の廊下の壁面に、伝言板があります。

リクエストBOXに図書館に入れてほしい本を書いてリクエストすると、伝言板で図書館の人がお返事をくれます。

また、図書館に新しく入った本の帯(オビ)を紹介する「オビよみコーナー」や図書委員さんによる「図書便り」も掲示されていて、とても充実しています。



図書委員さん手書きのPOP

図書委員さん手書きのPOPが図書館内の壁面に飾られています。次はどんな本を読もうかな?と迷った時に参考になりそうです。美術部で活動している図書委員さんもいるそうで、イラストも魅力的なPOPです。

中高生向け講演会

「真夜中のディズニーで考えた働く幸せ」

8月28日中央図書館にて開催



河出書房新社

ブックリスト「SETAYOMI」で紹介している『真夜中のディズニーで考えた働く幸せ』の著者である鎌田洋さんに、中高生のみなさんに向けて講演をしていただきました。

まず、鎌田さんが参加者の中高生にディズニーに来園したことがあるか尋ねると、ほとんどの参加者の手があがりました。複数回行った事がある人もたくさんいました。リピート率が高いのもディズニーの特徴だそうです。

それから、鎌田さんがディズニーで働くまでのお話をしてくださいました。

新婚旅行でアメリカのディズニーランドに行きディズニーの世界に魅了された鎌田さんは、日本にディズニーランドができると聞くと、なんとしてもディズニーで働きたいと強く思ったそうです。ディズニーで働くため勤めていた会社を辞め、6回入社試験を受けましたが、結果は全て不合格。しかし、7回目の試験でやっと入社できたそうです。なんと、3年間に及び挑戦でした。



ようやく入社したあとも、配属先が掃除部門だったことに最初は戸惑ったそうです。

それを乗り越えて仕事のよろこびややりがいを感じる事ができるようになるまでには、恩師との出会いや、いろいろな苦勞・試行錯誤があったそうです。

アンケートからは、

「今まで悩んでいたことや苦しかったことが少し晴れた気がしました。また、将来のことを考えるのは嫌でしたがこの講演を機に向き合っていきたいです。」「夢をあきらめずに努力する勇気をもらいました。」「何度も落ちてあきらめなかった姿はとても尊敬しました。」などなど、熱意のこもった感想をたくさんいただきました。将来に向き合う中高生を勇気付ける講演となったようでした。

講師の鎌田洋さんの著作は世田谷区立図書館でも多く所蔵していますので、是非読んでみてください。

中高生向け講座

「第2回POP講座」

8月26日(砧図書館)・27日(中央図書館)に開催



POPはそれを見た人に、その価値をアピールするツール(道具)です。今回は紹介したい本を受講生に持参してもらい、その本の魅力を伝えるPOPを作成してもらいました。

短い時間で、全員がPOP作品を完成させることができ、非常に内容の濃い充実した講座となりました。

今回、受講生の想いがつまった作品をすこし紹介します！



←「遥かなるニキラアイナ」

池田美代子著 尾谷おさむ絵

(講談社)

■女の子と猫の絵がかわいい！

どんな結末が待ち構えているんだろう…。



「姑獲鳥(うぶめ)の夏」京極夏彦著(講談社) ↑

■よく見ると裏に薄く女の人の影が…?

↑
「屋上のWindノーツ」
額賀澤著(文藝春秋)

■楽器のイラストが大きくて思わず目に入っちゃうね。吹奏楽部の人には気になってしまうんじゃない？

この本おすすめ！ 図書館で職場体験をした中学生・高校生に聞きました！

遥かなるニキラアイナ
— 魔訶不思議ネコムスビ ① —
池田美代子 / 作 尾谷おさむ / 絵

この本は青い鳥文庫の中で有名な新妖怪バトルで有名な池田美代子さんの作品です。
「魔訶不思議ネコムスビ」は1巻の「秘密のオルゴール」から始まり、「迷宮のマーメイド」や「虹の国バビロン」などタイトルが特徴的で、絵も可愛くて思わず手に取りたくなるような本です。
ある「ネカラ」をもつ主人公・いつみや、いつみのネコムスビたちかネコの国・ニキラアイナでいつみの秘密や様々な冒険をする物語です。
ただの冒険物語とは違い、「ネコの国」での冒険物語なので人間のいつみもネコになって冒険します。
いつみの友達・玉ちゃんや莉マもネコになります。ニキラアイナとの玉ちゃんや莉マの関係性が意外であたり、ムスビの話すムスビ弁もとても面白いです。
最後のページのあとがきで、おまけのムスビは面白くてとてもおすすめです。
ぜひ読んでみてください！

← (烏山中 Y. Mさん)

P.3のPOPでも紹介されていますね。

(都立戸山高校 N. Aさん) →

和菓子のアン [著] 坂本司 [発行] 光文社文庫

主人公の名前は梅本杏子。あだ名はアンちゃん。食べるのが大好きな女の子だ。高校卒業後、進学先も将来の夢もないアンちゃんは、「このままじっとたのニートになっちゃう！」と焦りだし、デパートの和菓子店「みつ屋」で働き始める。超個性的な店長や同僚たちに囲まれて、今日もお店には様々な謎を抱えたお客さんがやってくる…。

この本はとっても前向きなアンちゃん目線で書かれ、日常のなかの和菓子にまつわる小さな謎を解きあかしていく、というお仕事ミステリーで、すごく読みやすいです！また、個性的で魅力的な登場人物やほのぼのとした世界観に心奪われることまちがいない！ぜひ一度手に取って読んでください。

ちなみに…
続編「アンと青い鳥」もあるので、こちらも興味があればぜひ読んでください！

私が選んだ本は
「ソードアート・オンライン1 アインクラッド」
著者：川原礫 イラスト：abec
発行：株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス
レーベル：電撃文庫
＜あらすじ＞



おすすめポイント！

- ・子どもから大人まで楽しめる
- ・主人公がかっこいい

クリアするまで脱出不可能、ゲームオーバーは本当の「死」を意味する。謎の次世代RPG（ロールプレイングゲーム）「ソードアートオンライン」（SAO）の真実を知らずログインした約1万人のユーザーと共にその過酷なデスゲームは幕を開けた。SAOに参加した一人である主人公キリトはいち早くこのゲームの真実を受け入れ、パーティーを組まないソロプレイヤーとして頭角をあらわしていった。クリア条件である最上階層到達を目指し過酷な冒険を単独で続けるキリトだったが女流剣士アスナの強引な誘いによって彼女とコンビをくむことに。その出会いはキリトに運命とも呼べる契機をもたらしー。(烏山中 W. Rさん)

子ども読書リーダー活躍中！！ at 梅丘図書館

梅丘図書館の読書リーダーの活動は、おはなし会の読み聞かせや工作の見本作り、POP作成などです。ポップを本の隣に置くと、昨年と比べ3倍以上の貸出がありました。

～梅丘図書館子ども読書リーダー(T. Aさん)からのメッセージ～

読書リーダーは毎月1回、水曜日の学校が終わったあとに活動しています。活動のひとつが本の紹介です。自分が好きな本やおもしろいと思った本を選び、その本の良さが伝わるように工夫してPOPを作りました。POPを図書館の中に本と一緒に展示してみると、たくさんの人が借りてくれてやりがいを感じました。これからも多くの方が、本を好きになってくれるように紹介していきたいです。



POP展示の様子

編集後記

芸術の秋ですね。美術館や博物館に行く機会がある人もいるのでは？行く前や行った後に図書館で関係のある本を調べると、より楽しめると思います。図書館には、画集や写真集もたくさんあります。芸術の秋、ぜひ図書館にも足を運んでくださいね。